TIFA グローバルサロン

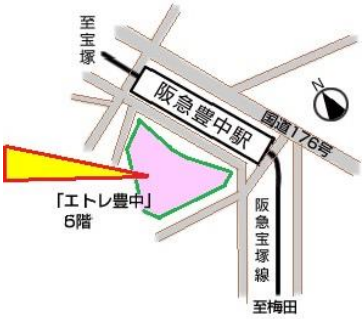
難民危機に日本は何ができるのか

私が歩んで来た道

～ 在日難民の人々に寄り添って ～

日本にも多くの難民の方達が来ています。2015 年は 69 ヶ国から 7500 人以上の方が国内で難民申請されています。また 2016 年は 1 万人以上の方が難民申請されました。しかし日本の「不認定率」は 99%を超え、2014 年は 11 人, 2015 年は 27 人とほとんど難民認定されていません。しかし日本は 1981 年に難民条約を批准しており、難民として庇護すべき責務を負っています。
ＲＡＦＩＱ（ラフィック在日難民との共生ネットワーク）代表の田中さんは孤立しがちな難民の方達のため『なんみんハウス』を開所し、緊急用のシェルター(住居)とし難民認定や生活のさまざまな相談に応じられています。
難民の方達への思いや支援活動についてお話をお伺いします。
ぜひご参加ください。

…☆…☆…☆…☆…☆…☆…☆…☆…☆…☆…☆…☆…☆…☆…



日時：2017 年 9 月 3 日(日)午後２時～４時

場所：とよなか男女共同参画推進センター
「すてっぷ」　セミナー室 2AB
（阪急豊中駅隣接 エトレ豊中５階）

お話：ＲＡＦＩＱ(ラフィック在日難民との共生ネットワーク)代表
田中恵子さん

＜講師プロフィール＞　田中恵子さん
支援団体 RAFIQ（ペルシャ語・アラビア語で「ともだち」の意味）の共同代表。2002 年に大阪茨木市にあった西日本入国管理センターでアフガニスタン難民と面会し、難民認定申請者たちが置かれている厳しい収容環境や日本での生活の実態を知る。以来、「難民と一緒に暮らせる街」の実現を目指して、法的サポートや就労、医療、シェルター支援、政策提言、市民への意識啓発を通して、同団体で精力的に日本にいる難民の支援に取り組む。

参加費：300 円
主　催：ＮＰＯ法人国際交流の会とよなか（ＴＩＦＡ）

<申し込み・問い合せ先>
TIFA 事務局　月曜～金曜　9:30～17:00
Tel/Fax：06-6840-1014
E-mail ：tifa99@nifty.ne.jp
ホームページ：http:// tifa-toyonaka.org/